

会員企業紹介

訪問 インタビュー

沼田支部副支部長



(有)笠原産業

専務取締役 笠原 克也 氏 (沼田支部所属)

今回は、理事／沼田支部副支部長／広報委員の(有)笠原産業・笠原専務にお話を伺いました。

▼会社概要

当社は先代がトラック一台で個人事業から始めた会社で、建設機械専門輸送と重機土木業を柱としています。輸送業では、主に建設機械や重機、建築資材などを運びます。これらは社会資本整備への貢献が大きなものです。土木事業は、道路や橋などのインフラ整備、氾濫防止の河川工事などが主となります。これらは生活や社会経済活動を支える基盤となり、どちらの事業も、暮らしを守り産業を支える重要な役割があります。

▼自己紹介

私は元々パソコンに興味があり、高校、専門学校とエンジニアの道歩んでいましたが、卒業のタイミングで父が地元の土木関係の会社に就職を決めてしまい、畑違いの土木の道を進むことになりました。そこで七年ほど働いた後に笠原産業へ入社しました。

最初は現場での土木作業、トラックの運転手。並行して必要な資格を取得し現場の陣頭指揮といったように「頭に立つ人はもって職人から学べ」を実行してきました。



プライベートでは、四十五歳を過ぎて始めたバイクとマラソン、出張先での食べ歩きや神社仏閣巡りも好きです。「よく働きよく休みよく遊べ」が私の信条です。

▼同友会入会のキッカケ

沼田市内の若手経営者・後継者を集めた有志の勉強会に誘われ、参加を重ねるうちに、ある日突然同友会の申込書を持ってきた友人にその場で書かされ入会しました(笑)。その時に同席していた仲間はほぼ同友会に入っています。

▼経営指針をつくる会

一番感じたことは「素直さと人との繋がりの大切さ」です。ペテラン経営者が謙虚な気持ちで耳を傾け、学ぼうとする姿勢

に驚かされました。素直でない人との話を聞けなくなり、人が話してくれなくなり、話しても仕方がないと思われてしまえば、必要なときに誰も助けくれません。これでは他人の智慧を生かせないと気づいたと同時に、無自覚に犯してきた失敗の原因の一つだという事にも気づかされました。「因(原因)と果(結果)の間に「縁」がある」と聞いた事があります。「原因がわかっても人との巡り合わせがなければ結果に結びつかない」という意味です。私は「本人に実力がなければ成功しない」と思っていました。この言葉の意味がわかりました。

▼同友会の生かし方

沼田支部はアットホームな感じがします。例会設営を担当した際には任職を招き、説法から経営を考えたりもしました。また、昨今の外部環境の変化を受けて、会員外経営者の話を聞く例会も楽しく、刺激的な内容も増えたと感じます。

専門部会や委員会の中でも採用・教育(共育)に興味があり、ぜひ会社として参加し、階層別に意識を変えていきたいと考えています。他社の「真似ができる」というメリットを生かし、人として組織として成長したい



▼今後の展望

当社の事業の需要はなくならないと思いますが、事業エリアの拡大は行わず、当面は地固めが必要だと考えています。運送業では、免許制

度の変更等でドライバーの確保が課題です。土木事業では、職人気質の親方が多く社員教育に課題があります。この課題に向き合い、他社を真似しながら改善に取り組んでいきます。

■顔の見える広報誌を目指して今日もどこかで取材中!

所在地／沼田市岡谷町1079-1
連絡先／TEL027-24-1579